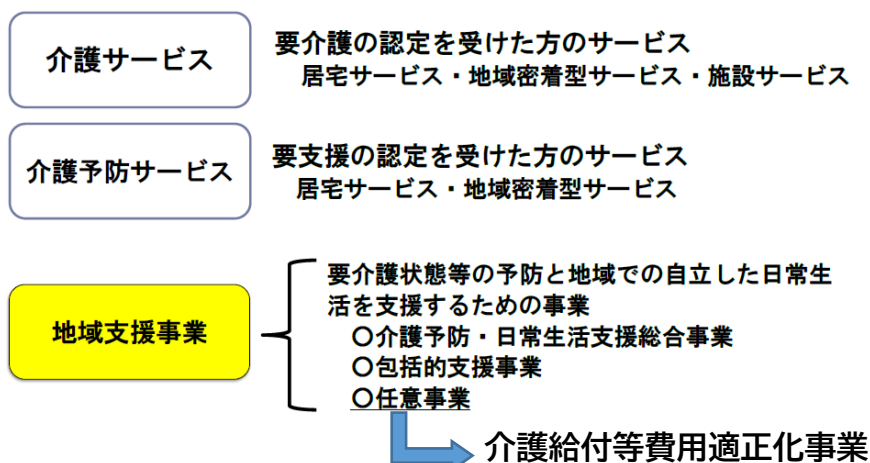


## 令和4年度ケアプラン点検結果(介護給付等費用適正化事業)

令和5年3月  
小山市高齢生きがい課

### 1. ケアプラン点検の位置づけ

○介護給付等費用適正化事業に基づいて実施



### 2. ケアプラン点検の目的

○ケアプランがケアマネジメントのプロセスを踏まえ「自立支援」に資する適切なケアプランとなっているかを、基本となる事項を介護支援専門員とともに検証確認しながら、介護支援専門員の「気づき」を促すとともに「自立支援に資するケアマネジメント」とは何かを追求し、その普遍化を図り健全なる給付の実施を支援することを目的としています。

### 3. ケアプラン点検の実施方法

#### ①【ヒアリング形式】

##### 対象ケースの抽出方法

・市で導入している「介護給付適正化支援システム(トリトンモニター)」を利用し、利用者の要介護認定時の各種情報とサービス利用状況を比較し、心身の状況に合わないサービスを利用している可能性のある利用者を抽出します。

※トリトンモニター

➡認定データと給付データを突合させて、ケアプランに基づく介護サービスが被保険者の心身の状態に適した内容となっているか等を確認するシステム

##### 実施方法

・対象ケースについて事前に事業所の担当ケアマネージャーにケアプラン等の資料をご提出いただき市役所にて担当ケアマネージャーと保険者(市職員・ケアマネジメント指導員)、高齢者サポートセンターの職員が参加いただいた資料をもとに確認しあう姿勢で30分程度ヒアリングを行います。



## ②【運営指導と同時実施形式】

### 対象ケースの抽出方法

- ・運営指導の事業所から利用者全員の利用票を提出いただき、サービスの利用状況等を事前に確認し、当日書面を確認する利用者を決定します。
- ・ケアマネ1名あたり2～3件を確認いたします。

### 実施方法

- ・運営指導時にケアプラン等の書面一式を確認し、指定基準に定められている「一連の手続き」が漏れなく行われているかを確認します。書面を確認後に、必要に応じてヒアリングを実施します。

## ③【ヒアリングシートの送付】

### 対象ケースの抽出方法

- ・トリトンモニターを活用して、対象ケースに該当する利用者を抽出します。

### ヒアリングシート送付対象ケース例

- 過誤の可能性の高い給付  
(例:給付管理サービス実績がない介護(予防)支援費、短期入所中(30日利用)の他の介護サービスの給付等)
- 不必要な可能性のある給付  
(例:軽度認定者に対する福祉用具貸与、心身軽度状態の者に対する福祉用具貸与等)
- 過剰な可能性のある給付  
(例:訪問介護の過剰な可能性のある給付、福祉用具貸与の過剰な可能性のある給付等)
- 各種加算の算定要件の確認等

### 実施方法

- ・ケアプランに位置付けられた介護サービス等の適切さを確認するために、居宅介護支援事業所等に確認シートを送付します。



#### 4. 令和4年度のケアプラン点検の実施内容

##### ①【ヒアリング形式】

実施回数	ケアプラン数	主な確認・指摘内容
12回	58件	<p>○通所介護・リハビリで栄養スクリーニング加算・口腔機能向上加算を算定 ⇒①ケアマネジメントの一環として提供される加算であるがアセスメントの結果として必要性があると判断がされているか。 ②サービス担当者会議等で必要性の検討や情報共有がされているか。 ③ケアプランに位置付けられているか。</p> <p>○お泊りデイサービスのお泊りサービスの定期的利用 ⇒①緊急時かつ短期的な利用であるか。 ②短期入所や施設入所について検討し利用を判断しているか。 ③今後の支援の方向性を本人・家族とともに検討したか。</p> <p>○訪問リハビリと通所リハビリの併用 ⇒①それぞれのサービスの必要性について検討しているか。 ②適切な目標を定めているか。 ③実施状況について双方の事業所を含め十分に連携しているか。</p> <p>○区分支給限度基準額の利用率が 90% 超え ⇒利用者の状態像に合致しない、過剰なサービスとなっていないか</p> <p>○入浴介助加算Ⅱを算定 ⇒①自宅での入浴が想定されているか。 ②算定要件を満たしているか。 ③通所介護事業所との連携がとれているか。</p> <p>○訪問介護の頻回利用 ⇒①利用者の状態像に合致していない過剰なサービスとなっていないか。 ②サービス利用時の所要時間やサービス開始時間は適切であるか。 ③本人や家族が実施できるものまで支援を行っていないか。</p>

## ②【運営指導と同時実施形式】

実施回数	ケアプラン数	主な確認・指摘内容
10回	36件	<p>○居宅介護支援の一連の業務の確認</p> <p>○各種加算の算定条件の確認</p> <p>○医療系サービスにおける主治医との連携</p> <p>○アセスメントの法定項目</p> <p>※指導・助言内容は資料1を参照</p>

## ③【ヒアリングシートの送付】

ヒアリングシートによる確認事項	送付件数	確認・指摘内容
サービスの偏りについて (訪問介護・居宅療養管理指導・福祉用具貸与のみのサービス利用で区分支給限度額に対するサービス利用率が90%を超過)	21	訪問介護について過剰と思われるサービス提供有り。 ⇒訪問介護の必要性の有無や回数の見直しを行い、適切なサービス提供が行われるように見直しを行うようにすること。
軽度者に対する福祉用具の例外給付 (特殊寝台及び附属品・床ずれ防止用具、移動用リフト)	6	保険者への例外給付確認申請書未提出での利用有り。 ⇒例外給付を行う場合は一連の手続きを行うこと。 <b>期限切れになる前に申請書を市へ提出する。</b>
短期入所の長期利用について ・30日超過連続利用 ・認定有効期間の半数超過利用	27	保険者への30日超過連続利用申出書、認定有効期間半数超過利用申出書が未提出での利用有り。 ⇒超過利用となる場合は、必ず市の承認を得ること。 <b>原則、超過利用となる前に申出書を市へ提出する。</b>
訪問介護の給付確認 ・生活援助の夜朝加算の算定 ・身体生活を月30回から59回利用 (1日に1-2回程度)	13	必要性が低い夜朝加算の算定、過剰と思われる身体生活のサービス提供有り。 ⇒訪問時間やサービスの必要性の見直しを行い、適切なサービス提供が行われるようにすること。

## 5. 来年度のケアプラン点検の予定

### ①実施予定件数

	ヒアリング形式	運営指導と同時開催形式	ヒアリングシート
実施回数	12回(月1回)	10回～18回	3回～5回
ケアプラン数	60件	ケアマネ1名あたり2～3件	

### ②点検実施予定内容

#### 点検対象ケアプラン

- 認知症自立度Ⅱb以上のケアプラン
- 居宅介護支援の各種加算を算定しているケアプラン
- 通所介護や通所リハビリでの加算を算定しているプラン
- お泊りデイサービスの長期利用
- 訪問介護の頻回利用(生活援助単独だけではなく身体も含む)
- 区分支給限度基準額の利用率が90%超え
- 医療系サービスを位置付けているケアプラン
- 軽度者の福祉用具の例外給付を行っているケアプラン
- 精神疾患を持つ方のケアプラン
- 医療依存度が高い方のケアプラン
- その他、市が必要と認めるケアプラン

#### 対象事業所

##### ヒアリング型

- 上記のケアプランに該当する事業所
- 在籍する介護支援専門員が1名のみの事業所
- 新規開設の事業所
- 小山市内の居宅介護支援事業所において  
介護専門員としての勤務期間が5年未満の方
- その他、市が必要と認める事業所

##### 運営指導と同時開催形式

- 運営指導の対象事業所

##### ヒアリングシート

- 抽出条件に該当する事業所

令和4年度におきましては、ケアプラン点検をはじめとする給付適正化事業にご協力いただきありがとうございました。引き続き令和5年度もご協力の程よろしくお願いいたします。

